

トヨタ車体が湧永製薬を破り3番手争いが激化

～第33回日本ハンドボールリーグ第12週～

日本ハンドボールリーグ第12週は、11月29日に男子5試合が行われ、首位の大同特殊鋼、大同を追走する大崎電気が順調に白星を重ねたのに対し、注目の対戦となったトヨタ車体-湧永製薬戦で車体が大差で快勝。トヨタ紡織九州も勝利したことで、大同、大崎に次ぐ3番手に湧永、車体、紡織の3チームが勝点19で並び、プレーオフ出場権（レギュラーシーズン4位以内）をめぐる争いがいっそう激化してきた。

11勝1敗で首位を走る大同は、山梨でトヨタ自動車を迎え撃った。序盤、自動車GK・稲本の堅守に苦しめられ、思うように得点ペースが上がらなかった大同だが、安定したディフェンスをベースに試合の主導権をキープ。前半を18-7と11点リードで折り返した大同は、後半も軽快にペースアップ、チーム最多の8得点をあげて通算500得点をマークした末松をはじめ、ベンチ入りしたCP全員得点の猛攻を披露して自動車を41-15で圧倒し、順当に12勝目をあげて単独トップを守った。

埼玉での大崎-北陸電力戦は、地元の大声援を背にした大崎がスタートからスパート。大崎は高い位置で積極的に仕掛けるディフェンスで北電攻撃陣にプレッシャーをかけると、このディフェンスを攻めあぐんだ北電はミスを連発。このミスを逃すことなく着実に速攻へとつなげた大崎が、テンポよくリードを広げていった。宮崎の通算500ゴール、中川の通算600ゴールと2つのメモリアルゴールも含め、前半だけで21点をあげた大崎は、後半6分にも石原のGKシュートが決まるなど、勢いは増すばかり。北電は試合終盤、大崎の退場機に桜井、落合らでわずかに点差を縮めるのがやっとだった。10勝目をマークした大崎は、湧永が敗れたことで単独2位に浮上した。

愛知での車体-湧永の対戦は、車体・木下、湧永・志水のファインセーブの応酬もあって一進一退の展開。その接戦から地元サポーターの熱い声援も背に受け、わずかに抜け出した車体は、前半25分14-12と2点リードから鶴谷のゴールを皮切りに5連取、20-13とリードを7点に広げて前半を折り返した。優位に立った車体は、巻き返しを図る湧永に対し、後半立ち上がり1分過ぎからの3連取、9分過ぎからの4連取と、効果的な連続得点を繰り出し、12分28-16と試合の流れを完全に支配。車体の勢いは止まることなく、さらに19分過ぎから崎前らで5連打を湧永ゴールに浴びせる猛攻を見せ、完全に湧永の息の根を止めて大きな白星をつかんだ。

この結果、上記のとおり、紡織も含め9勝1分3敗で3番手に3チームが並んだことで、プレーオフ進出争いがいっそう白熱。この争いはレギュラーシーズン閉幕まで目を離せそうにない。（2ページに続く）



④湧永製薬に快勝したトヨタ車体のルーキー銘刈

⑦記念のゴールに笑顔の大崎電気・中川⑥と宮崎⑥

第13週の日程

12月6日(土)	山形	山形市総合スポーツセンター（JR奥羽本線羽前千歳駅徒歩10分）	13:00～	(男)	トヨタ車体 × 豊田合成
			15:00～	(男)	大同特殊鋼 × Honda
	福井	北陸電力福井体育館フレア（えちぜん鉄道「観音町」駅徒歩5分）	13:00～	(男)	北陸電力 × トヨタ自動車
	佐賀	神埼中央公園体育館（JR長崎本線神埼駅徒歩5分）	14:00～	(男)	トヨタ紡織九州 × 大崎電気
	沖縄	浦添市民体育館（琉球バス乗車「浅野浦」徒歩1分）	14:00～	(男)	琉球コラソン × 湧永製薬



黒田史夫 (Team47)

Honda・野嶋

トヨタ紡織も手堅く勝利

そのほか2試合も活発な打ち合いでハイスコアの戦いとなった。愛知での豊田合成-トヨタ紡織九州戦は、中村のポスト、大橋、加藤のサイドからの攻撃で加点する合成に対し、紡織は村上秀のサイド、速攻で応戦。一進一退の攻防が続く中で、プレーオフに望みをつなぐ紡織の勢いが徐々に増し、23-17で前半を終えた。後半もスピーディな展開となったが、18分過ぎから紡織は相手の攻撃ミス速攻につなげ、25分には41-27として勝利を決定づけた。紡織は村上秀が14得点で通算400得点を達成、中島も10得点と大活躍、合成はGK大立の再三の好セーブもむなしく黒星を喫した。なお、この試合の両チーム合計77得点は男子のリーグ新となった。

沖縄での琉球コラソン-Honda戦は、琉球が村山の7mスロー、水野の速攻などで加点すれば、Hondaも竹田、横地で追いかけて、11分7-7と互角の展開となった。しかし、その後はスピーディな展開に持ち込もうとする琉球に攻撃ミスが続く間に、Hondaが手堅いディフェンスと竹田の連取などで混戦を抜け出し、20-16と4点差をつけて前半終了。後半も出だしからHondaの攻勢が続き、琉球・高田が退場したパワープレーチャンスに柳本が加点して6分27-20と先行。琉球も必死の3-2-1ディフェンスで活路を見出そうとしたが、Hondaの1対1からの攻めに対応できず、39-31でHondaの勝利となった。

男子のみ5試合が行われる次週は、湧永製菓、トヨタ車体と同勝点で並ぶ紡織が2位の大崎電気をホームに迎え撃つ一戦がハイライト。大同特殊鋼らの上位陣は、それぞれ下位チームの挑戦を受ける。

◆ 11月29日(土) 男子 埼玉・和光市総合体育館	◆ 11月29日(土) 男子 山梨・甲州市塩山体育館	◆ 11月29日(土) 男子 愛知・知立市福祉体育館
大崎電気 36 (²¹⁻⁸ ₁₅₋₁₄) 22 北陸電力 10勝1分2敗 4勝0分9敗	大同特殊鋼 41 (¹⁸⁻⁷ ₂₃₋₈) 15 トヨタ自動車 12勝0分1敗 1勝0分12敗	トヨタ車体 38 (²⁰⁻¹³ ₁₈₋₁₂) 25 湧永製菓 9勝1分3敗 9勝1分3敗
K 浦和 高橋 5/7 2/2 小澤 神田 5/12 5/7 前田 落合 2/3 1/1 2/3 中川 桜井 1/4 2/3 1/1 永島 前田 3/7 3/6 太田 高田 0/0 1/1 0/0 酒井 杉山 2/6 <1/2> K 濱口 表 0/0 2/2 1/7 岩永 山原 1/1 3/5 東俊介 亀田 0/0 <0/1> 1/1 石原 丸山 K 3/9 内田 石塚 1/2 1/1 0/0 猪妻 有江 K <0/2> 10/12 宮崎	2/3 6/11 末松 増田 K 3/3 浦田 坂口 0/3 1/1 富田 岩田 0/5 0/1 1/4 地引 高野 2/6 7/11 武田 小林 1/2 2/5 岸川 倉田 1/3 <0/1> K 高木 佐藤 K 6/8 李才佑 澤田 0/0 1/1 千々波 成田 0/0 3/4 山城 出會 1/1 <0/1> K 東 稲本 K <2/4> 7/10 白元詰 光増 2/6 1/4 松永 福田 1/2 1/3 渡久川 山口 4/11 2/2	K 木下 志水 K 0/2 佐々木 坂本 1/4 5/7 高智 濱本 0/0 2/3 野村 山中 1/4 0/0 藤田 福田 0/3 2/3 北出 名嘉 0/1 <2/4> K 田平 東 2/8 0/1 0/0 小沢 坪根 K <0/2> 1/3 長谷川 新 10/16 8/13 鶴谷 武藤 2/3 2/2 4/8 香川 松村 K 3/9 崎前 古家 2/6 2/4 銘苅 山口 1/2 9/12 門山 東長濱 4/16 2/3
5/5 31/53 9(FPP)5 20/42 2/3 審判(福田・富田) 観客 1252人	2/4 39/65 7(FPP)3 13/39 2/2 審判(北嶋・比留間) 観客 542人	2/2 36/64 5(FPP)16 23/63 2/4 審判(藤井・大熨) 観客 796人

※トヨタ自動車にオウンゴールによる1得点あり



大同特殊鋼

ホームゲームを盛り上げるニューパワー

日本リーグも中盤戦。名古屋地区での大同特殊鋼フェニックスのホームゲームで選手たちを盛り上げる子供たちをご覧になりましたか？

デリシャス〔Delicious〕という名古屋地区を中心に活動しているチアリーダーのチームです。

社会人からなんと3歳の子供と幅広い年齢のメンバーで名古屋のスポーツを盛り上げています。

代表を務める可見さんは「お客さんの拍手や声援が届き、少しでもフェニックスの力になれるように一緒に盛り上がります。

そして勝利に導く手助けができるようがんばります。デリシャスをよろしくお願いします」と意欲満々です。

名古屋大会のニューパワーにぜひ注目してください！



デリシャスの可愛いチアリーディングにご注目！

◆ 11月29日(土) 男子
愛知・稲沢市総合体育館

トヨタ紡織 九州 44 (23-17) 33 豊田合成
9勝1分3敗 21-16 2勝0分11敗

<0/1>	K 松 野	大 立 K
10/12	中 嶋	原 0/ 0
2/ 2	西 端	後 藤 0/ 0
0/ 2	村上直	黒 木 0/ 0
0/ 0	松 信	大 橋 8/ 9
14/17	村上秀	桶 谷 0/ 1
5/10	呉相民	加 藤 5/ 9
4/ 6	佐久間	大 植 0/ 0
5/ 6	海 道	渡久山 2/ 5 1/1
1/ 5	阪 今	村 5/ 9
K 谷 川	中 村	7/12
1/ 3	藤 山	芳 仲 1/ 2
1/ 2	船 木	藤 堂 K
1/ 2	泉 原	嶋 中 4/ 9

0/0 44/67 2(FPP)2 32/56 1/1
審判 (寺内・細川) 観客 612人

◆ 11月29日(土) 男子
沖縄・沖縄県立武道館

Honda 琉球 39 (20-16) 31 コラソン
5勝0分8敗 19-15 2勝0分11敗

0/ 0	中 谷	宮 城 2/ 5
7/10	鶴 見	久 高 0/ 0
2/2	3/ 5 柳 本	村 山 7/12 4/4
1/ 2	河 瀬	棚 原 0/ 1
13/17	竹 田	岡 田 4/ 6
6/ 7	横 地	積 0/ 0
0/ 0	伊 藤	池 田 0/ 0
0/1	0/ 0 青 山	内 田 K <1/1>
<0/2>	K 吉 村	水野矢 0/ 0
0/ 1	瀬 元	内 山 3/ 4
6/ 9	野 嶋	田 場 0/ 3
1/ 1	高 木	高 田 7/16
<0/2>	K 兼 浦	石 田 K <0/2>
K 四 方	水野紀	4/ 5

2/3 37/52 3(FPP)7 27/52 4/4
審判 (黒木秀・黒木龍) 観客 341人

北國銀行が快進撃 2008 女子チャレンジリーグ

「2008女子チャレンジリーグ大会」が11月28日から30日まで愛知県名古屋市（ブラザー工業体育館・大同特殊鋼体育館）で開催された。

第12回アジア女子選手権（11月21～30日、タイ）のブレイク期間を利用して行われたこの大会は、日本リーグ全体のレベルアップを図り、日本リーグ勢に次ぐ実力を持つ実業団チームを育て、日本リーグ入りを促進するのが狙い。オムロン、ソニーセミコンダクタ九州、北國銀行、三重バイオレットアイリス、H C名古屋の日本リーグ勢のほか、実業団の香川銀行を加えた7チームが参加して次々と試合（試合時間は30分）をこなした結果、6戦全勝をマークした北國銀行の好調さが目立ち、三重バイオレットアイリスも4勝2敗と勝ち越し、香川銀行は3勝1分5敗と奮戦した。

各試合の結果は以下の通り。

女子チャレンジリーグ結果

日 付	対 戦
11月28日(金)	三重バイオレットアイリス 15-11 H C名古屋
	北國銀行 10- 9 香川銀行
	オムロン 10- 9 広島メイプルレッズ
	ソニーセミコンダクタ九州 15- 9 H C名古屋
	三重バイオレットアイリス 13-11 香川銀行
	北國銀行 15-12 広島メイプルレッズ
11月29日(土)	ソニーセミコンダクタ九州 12- 9 オムロン
	オムロン 14-12 香川銀行
	三重バイオレットアイリス 20-13 ソニーセミコンダクタ九州
	広島メイプルレッズ 17- 6 H C名古屋
	北國銀行 19-11 オムロン
	香川銀行 14-13 ソニーセミコンダクタ九州
	広島メイプルレッズ 12- 6 三重バイオレットアイリス
	オムロン 13- 7 H C名古屋
	北國銀行 16-13 ソニーセミコンダクタ九州
	香川銀行 19- 7 広島メイプルレッズ
	三重バイオレットアイリス 11-10 オムロン
	北國銀行 13- 7 H C名古屋
11月30日(日)	広島メイプルレッズ 19-14 ソニーセミコンダクタ九州
	香川銀行 16-10 ソニーセミコンダクタ九州
	オムロン 17- 9 ソニーセミコンダクタ九州
	オムロン 13- 8 香川銀行
	H C名古屋 13-13 香川銀行
	ソニーセミコンダクタ九州 15-13 広島メイプルレッズ
	北國銀行 13-10 三重バイオレットアイリス
	広島メイプルレッズ 16- 6 香川銀行



琉球コラソン

「子供たちと一緒に成長を」

沖縄県初の日本ハンドボールリーグ加盟の琉球コラソンは、浦添市民体育館にて毎週月曜日に浦添市内の小学校ハンドボールチーム9校（440人）を対象にハンドボールスクールを行っています。毎週2校ずつ招待し、他校との交流を深めながらスクールを展開しています。

スクールでは、パスやキャッチの基本練習、高度な技術にチャレンジする練習などを遊びやゲーム形式を取り入れることにより、コラソンの選手と子供たちが一緒にハンドボールを楽しめる内容になっています。

浦添市内の子供たちはハンドボールの競技レベルが高く、プレーを見ていて驚かされることが度々あります。以前、スペインのプロチームでコーチを務めているサバテ・ハビ

エル氏が沖縄を訪れた際に、スクールを見学し「浦添市の小学生は世界でもトップレベルだ」と話していました。

琉球コラソンの選手も、子供たちが楽しくプレーしている姿を見て元気をもらっています。

今後スクールの展望として、子供たちと選手がともに成長していけるような活動の場を目標として、世界トップレベルの子供たちの中から、将来の琉球コラソン選手、オリンピック日本代表選手が出てくることを期待しています。



男女個人賞レース 第12週終了

《男子》
《女子》

得点王

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	99 点	(13試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	79 点	(9試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼)	97 点	(13試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	70 点	(9試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	93 点	(13試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	55 点	(9試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	86 点	(13試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	48 点	(9試合)
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	85 点	(13試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	46 点	(9試合)
6 柳本 義文 (Honda)	80 点	(13試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	44 点	(9試合)
7 東長濱 秀作 (湧永製薬)	76 点	(13試合)	7 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	42 点	(9試合)
8 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	74 点	(13試合)	8 横嶋 かおる (北國銀行)	40 点	(9試合)
9 門山 哲也 (トヨタ車体)	71 点	(13試合)	9 高栖 由香 (ソニー)	36 点	(9試合)
10 新 建 二 (湧永製薬)	70 点	(13試合)	9 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
11 高 田 匠 (琉球コラソン)	65 点	(12試合)	9 李 キョンミン (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
12 内田 雄士 (大崎電気)	64 点	(13試合)	12 城内 真紀 (オムロン)	35 点	(9試合)
13 鶴見 拓 (Honda)	63 点	(13試合)	12 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	35 点	(9試合)
14 中村 晃己 (豊田合成)	62 点	(13試合)	12 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	35 点	(9試合)
15 光増 由矢 (トヨタ自動車)	60 点	(13試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	34 点	(9試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	93 点	(13試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	68 点	(9試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	85 点	(13試合)	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	46 点	(9試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	81 点	(13試合)	3 洪 廷 昊 (オムロン)	45 点	(9試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	78 点	(13試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	45 点	(9試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	74 点	(13試合)	5 東濱 裕子 (オムロン)	44 点	(9試合)
6 門山 哲也 (トヨタ車体)	71 点	(13試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	40 点	(9試合)
7 新 建 二 (湧永製薬)	70 点	(13試合)	7 高栖 由香 (ソニー)	36 点	(9試合)
7 村山 裕次 (琉球コラソン)	70 点	(13試合)	7 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
9 高 田 匠 (琉球コラソン)	65 点	(12試合)	9 城内 真紀 (オムロン)	35 点	(9試合)
10 鶴見 拓 (Honda)	63 点	(13試合)	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	35 点	(9試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	81点/126射 0.643	1 横嶋 かおる (北國銀行)	40点/ 54射 0.741
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	74点/116射 0.638	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	46点/ 64射 0.719
3 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	85点/137射 0.620	3 城内 真紀 (オムロン)	35点/ 51射 0.686
4 新 建 二 (湧永製薬)	70点/115射 0.609	4 高栖 由香 (ソニー)	36点/ 55射 0.655
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	93点/159射 0.585	5 洪 廷 昊 (オムロン)	45点/ 78射 0.577

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	29 点	(13試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	34 点	(9試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	22 点	(13試合)	2 樋口 真央 (ソニー)	27 点	(9試合)
3 柳本 義文 (Honda)	19 点	(13試合)	3 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	23 点	(9試合)
3 福田 拓馬 (トヨタ自動車)	19 点	(13試合)	4 吉田 祥子 (オムロン)	19 点	(7試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	18 点	(12試合)	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	13 点	(9試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気)	10本/ 22射 0.455	1 田代 ひろみ (北國銀行)	9本/ 18射 0.500
2 高 木 尚 (大同特殊鋼)	8本/ 20射 0.400	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	5本/ 17射 0.294
3 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	16本/ 44射 0.364	3 近藤 澄江 (HC名古屋)	8本/ 31射 0.258
4 兼浦 裕也 (Honda)	7本/ 20射 0.350	4 藤間 かおり (オムロン)	6本/ 25射 0.240
5 稲本 圭亮 (トヨタ自動車)	10本/ 31射 0.323	5 中島 亜樹 (ソニー)	3本/ 13射 0.231

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第12週終了 11月29日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 ○ 21	27 ○ 23	32 34 ○ ○ 20 30	38 27 ○ ● 18 33	27 ○ 23	41 29 ○ ○ 25 15	37 ○ 19	40 ○ 20	39 41 ○ ○ 23 15	13	12	0	1	24	442	285	157
2	大崎電気	21 ● 30		27 31 △ ○ 27 22	30 ● 32	33 ○ 28	35 ○ 33	33 36 ○ ○ 21 22	49 38 ○ ○ 22 26	33 ○ 21	43 45 ○ ○ 23 26	13	10	1	2	21	454	333	121
3	湧永製薬	23 ● 27	27 22 △ ● 27 31		29 25 ○ ● 28 38	28 ○ 26	28 ○ 21	32 33 ○ ○ 18 16	35 ○ 25	39 36 ○ ○ 20 26	27 ○ 17	13	9	1	3	19	384	320	64
4	トヨタ車体	20 30 ● ● 32 34	32 ○ 30	28 38 ● ○ 29 25		25 △ 25	36 33 ○ ○ 27 29	30 ○ 19	32 ○ 21	43 ○ 28	37 42 ○ ○ 21 19	13	9	1	3	19	426	339	87
5	トヨタ紡織九州	18 33 ● ○ 38 27	28 ● 33	26 ● 28	25 △ 25		28 30 ○ ○ 25 25	38 ○ 32	35 38 ○ ○ 19 26	38 44 ○ ○ 19 33	37 ○ 22	13	9	1	3	19	418	352	66
6	H o n d a	23 ● 27	33 ● 35	21 ● 28	27 29 ● ● 36 33	25 25 ● ● 28 30		29 ○ 27	36 39 ○ ○ 26 31	27 28 ● ○ 28 18	29 ○ 23	13	5	0	8	10	371	370	1
7	北 陸 電 力	25 15 ● ● 41 29	21 22 ● ● 33 36	18 16 ● ● 32 33	19 ● 30	32 ● 38	27 ● 29		34 ○ 32	29 24 ○ ○ 27 23	23 ○ 22	13	4	0	9	8	305	405	-100
8	琉 球 コ ラ ソ ン	19 ● 37	22 26 ● ● 49 38	25 ● 35	21 ● 32	19 26 ● ● 35 38	26 31 ● ● 36 39	32 ● 34		35 ○ 34	32 42 ● ○ 35 29	13	2	0	11	4	356	471	-115
9	豊 田 合 成	20 ● 40	21 ● 33	20 26 ● ● 39 36	28 ● 43	19 33 ● ● 38 44	28 18 ○ ● 27 28	27 23 ● ● 29 24	34 ● 35		31 ○ 19	13	2	0	11	4	328	435	-107
10	トヨタ自動車	23 15 ● ● 39 41	23 26 ● ● 43 45	17 ● 27	21 19 ● ● 37 42	22 ● 37	23 ● 29	22 ● 23	35 29 ○ ● 32 42	19 ● 31		13	1	0	12	2	294	468	-174

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		30 29 ○ ● 27 31	22 25 △ ○ 22 23	31 34 ○ ○ 22 21	33 ○ 18	36 36 ○ ○ 12 14	9	7	1	1	15	276	190	86
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 ● ○ 30 29		21 25 ● ○ 23 22	34 ○ 21	26 33 ○ ○ 21 22	34 36 ○ ○ 17 17	9	7	0	2	14	267	202	65
3	北 國 銀 行	22 23 △ ● 22 25	23 22 ○ ● 21 25		29 28 ○ ○ 21 14	28 30 ○ ○ 18 21	38 ○ 14	9	6	1	2	13	243	181	62
4	広島メイプルレッズ	22 21 ● ● 31 34	21 ● 34	21 14 ● ● 29 28		22 16 ○ ● 16 19	37 26 ○ ○ 22 19	9	3	0	6	6	200	232	-32
5	三重バイオレットアイリス	18 ● 33	21 22 ● ● 26 33	18 21 ● ● 28 30	16 19 ● ○ 22 16		26 26 ○ ○ 19 21	9	3	0	6	6	187	228	-41
6	H C 名 古 屋	12 14 ● ● 36 36	17 17 ● ● 34 36	14 ● 38	22 19 ● ● 37 26	19 21 ● ● 26 26		9	0	0	9	0	155	295	-140

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。